

14 都市計画決定の経過

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
慶応 3年	1867		・ 立花由松、対雁に移住
明治 4年	1871		・ 対雁村設置
5年	1872		・ 対雁街道(札幌偕楽園～対雁)開通
6年	1873		・ 榎本武揚、対雁に農場を開設
9年	1876		・ 樺太アイヌ、対雁に強制移住
11年	1878		・ 第1次江別屯田兵入地 ・ 江別村設置
12年	1879		・ 対雁駅通所開設
13年	1880		・ 対雁村に江別、対雁両村戸長役場設置
14年	1881		・ 第1次篠津屯田兵入地 ・ 篠津村設置
15年	1882		・ 幌内鉄道(手宮～幌内)全通、江別駅開業
17年	1884		・ 石狩川定期航路就航 ・ 第2次江別屯田兵入地
18年	1885		・ 第3次江別屯田兵、第2次篠津屯田兵、第1次野幌屯田兵入地
19年	1886		・ 江別村に戸長役場を移設 ・ 第4次江別屯田兵、第3次篠津屯田兵、第2次野幌屯田兵入地 ・ 北越殖民社江別太(越後村)に試墾入植
20年	1887		・ 江別屯田兵村番外地を造成開始
21年	1888		・ 月形～篠津街道開通
22年	1889		・ 篠津村戸長役場廃止 ・ 白石街道(厚別～1番通)完成 ・ 幌内鉄道野幌駅開業
23年	1890		・ 北越殖民社、野幌に入植
27年	1894		・ 重兵衛渡し渡船開始
29年	1896		・ 篠津村より新篠津村分村
30年	1897		・ 江別市街地大火
32年	1899		◇耕地整理法公布(昭和24年廃止) ・ 新江別市街造成
34年	1901		・ 幌向村の南6線以北を江別村に編入
37年	1904		・ 人力軌道石狩川線敷設
39年	1906		・ 二級町村制施行(江別、対雁、篠津の3村合併し、江別村とする)
41年	1908		・ 富士製紙第5工場操業開始(現王子エフテックス(株)江別工場)
42年	1909		・ 一級町村制施行 ・ 江別～野幌間鉄道複線化開通
大正 2年	1913		・ 白石村との境界線一部変更
5年	1916		・ 町村制施行、江別町となる (16,732人、2,389戸)
8年	1919	◇都市計画法(旧法)公布(昭和43年廃止)	◇市街地建築物法公布(昭和25年廃止)
9年	1920		・ 第1回国勢調査(18,992人、3,453世帯) ・ 石狩大橋(旧)完成
10年	1921		・ 野幌原始林の一部(320.5ha)、特別天然記念物に指定
14年	1925		・ 第2回国勢調査(17,553人、3,340世帯)

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
昭和 2年	1927		・ 石狩川定期航路休航 ・ 江当軌道開業
5年	1930		・ 第3回国勢調査(19,633人、3,555世帯) ・ 夕張鉄道(栗山～野幌)開業
8年	1933	◇都市計画法一部改正(法の適用を市及び指定町村に拡大)	・ 石狩川対雁新水路完成
9年	1934		・ 札沼線の開通により江当軌道廃業
10年	1935		・ 第4回国勢調査(21,457人、3,669世帯) ・ 江別町全地域の町名地番改正 ・ 江別大橋完成 ・ 大日本電力江別火力発電所の設立
12年	1937		・ 初の道路舗装工事(江別駅～江別橋)施工
13年	1938		・ 石狩川巴農場新水路完成
15年	1940		・ 第5回国勢調査(19,759人、3,458世帯)
16年	1941		・ 豊平川新水路完成
19年	1944	・ 江別都市計画区域の決定 ・ 第一土地区画整理の決定(第二土地区画整理事業区域を含む)	・ 江別都市計画第一土地区画整理第一工区事業着手(初の都市計画事業)
20年	1945		・ 元江別に飛行場完成
22年	1947		・ 第6回国勢調査(28,815人、5,367世帯) ・ 対雁に引揚者住宅建築開始
24年	1949	・ 公園の決定～(新)飛鳥山公園	・ 町名変更(元江別の一部→緑町、一番町)
25年	1950		◇建築基準法公布 ・ 第7回国勢調査(31,647人、5,670世帯)
26年	1951	・ 野幌駅前土地区画整理の決定(55ha)	・ 篠津総合開発事業着手
28年	1953	・ 火災復興土地区画整理の決定(5ha)	・ 野幌駅前土地区画整理事業着手 ・ 江別大火、火災復興事業着手
29年	1954	・ 道路の決定～(新)公園通、国道12号線、兵村3丁目道路、旭通、白樺通、2番通(野幌地区)、兵村8丁目道路、学校通、中央通、江別長沼線、会社通、兵村7丁目道路、1番通(緑町)、3番通(緑町)	◇土地区画整理法公布 ・ 市制施行、江別市となる(34,359人、6,117世帯) ・ 江別橋架橋
30年	1955		・ 第8回国勢調査(35,185人、6,346世帯) ・ 札幌市との境界一部変更
31年	1956		・ 国鉄豊幌駅開業 ・ 上水道創業事業開始、浄水場通水
32年	1957	・ 道路の変更～(新)兵村4丁目道路、兵村5丁目道路、南1条通、2番通(江別地区)、(変)国道12号線、白樺通	・ 町名変更(元野幌の一部→野幌町／福移の全部→角山)
33年	1958		・ 都市公園条例制定 ・ 第二土地区画整理事業着手
34年	1959		・ 国鉄バス(江別駅前～対雁)初運行 ・ 町名変更(篠津の一部→中島)
35年	1960		・ 第9回国勢調査(37,396人、7,524世帯) ・ 江別ガス創立(現旭川ガス㈱江別支社)
36年	1961	・ 道路の変更～(新)新栄通、(変)兵村5丁目道路、(廃)兵村7丁目道路 ・ 第三土地区画整理事業の決定(106ha)	・ 江別市総合建設計画スタート ・ 第三土地区画整理事業着手 ・ 江別駅前通、道道中央通舗装完成 ・ 町名変更(元江別の一部→一番町、弥生町)
37年	1962	・ 卸売市場の決定(3.2ha)	

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
昭和38年	1963		・町名変更(元江別の一部→高砂町、向ヶ丘／元野幌の一部→錦町、幸町)
39年	1964	・用途地域の決定～当初決定 ・道路の変更～(新)3番通(大麻地区)、2番通(大麻地区)、大麻14丁目通、大麻駅前通、(変)国道12号線 ・道路の変更～(新)江別恵庭線、11丁目通、南町大通、(変)国道12号線、新栄通、兵村3丁目道路、江別長沼線、兵村4丁目道路、南1条通、3番通、2番通、白樺通、1番通(緑町)、学校通、(廃)1番通 ・公園の変更～(新)大麻東公園、錦町公園 ・下水道の決定 ・東郊土地区画整理事業の決定(39ha) ・大麻新住宅市街地開発事業の決定(215ha)	・江別市を含む道央地区、新産業都市に指定(平成13年制度廃止) ・大麻団地造成開始 ・町名変更(上江別の一部→東野幌／元野幌の一部→幸町／元江別の一部→高砂町)
40年	1965	・用途地域の変更～大麻地区の一部 ・道路の変更～(変)兵村8丁目道路、大麻駅前通	・第10回国勢調査(44,510人、10,570世帯) ・東郊土地区画整理事業着手 ・大麻団地で市内初の公共下水道使用開始 ・町名変更(大麻の一部→大麻西町、大麻扇町、大麻沢町、大麻宮町、大麻中町、大麻高町、大麻東町、大麻園町／元野幌の一部→晴美町、南樹町)
41年	1966	・公園の変更～(変)大麻中央公園 ・下水道の変更	・市役所新庁舎新築移転 ・国鉄大麻駅開業
42年	1967		・土地区画整理条例制定
43年	1968	◇都市計画法(新法)公布 ・用途地域の変更～西野幌地区、対雁地区、元江別地区の一部 ・道路の変更～(変)兵村8丁目道路(駅前広場を新設)(廃)旭通 ・公園の変更～(変)大麻西公園 ・下水道の変更	・新野幌土地区画整理組合設立認可 ・野幌原始林、道立自然公園に指定 ・新石狩大橋完成 ・国鉄の電化完成 ・町名の字名廃止
44年	1969	・札幌圏都市計画区域の指定 ・道路の変更～(変)兵村5丁目道路 ・公園の変更～(新)泉の沼公園 ・対雁土地区画整理事業の決定(260ha)	
45年	1970	・市街化区域及び市街化調整区域の決定～当初決定 ・用途地域の変更～市街化区域及び市街化調整区域の決定に伴う変更、旧東野幌地区、旧西野幌地区、大麻団地の一部 ・高度地区の決定～大麻団地の一部 ・道路の変更～(変)3番通 ・公園の変更～(変)飛鳥山公園	・第11回国勢調査(63,762人、17,223世帯) ・対雁土地区画整理事業着手 ・農業振興地域指定 ・町名変更(江別太の一部→東光町)
46年	1971	・特別用途地区(文教地区)の決定(347ha) ・道路の変更～(変)兵村5丁目道路、江別恵庭線 ・公園の変更～(新)さふらん公園、なでしこ公園、のぎく公園、あやめ公園 ・下水道の変更	・江別市第2期総合建設計画策定 ・野幌土地区画整理組合設立認可 ・野幌駅前広場完成 ・重兵衛渡し渡船廃止

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
昭和47年	1972	・道路の変更～(変)2番通、3番通 ・公園の変更～(新)とうこう公園 ・汚物処理場の決定～江別市清掃センター(1.7ha) ・ごみ処理場の決定～江別市清掃センター(5.1ha)	・江別太土地区画整理組合設立認可
48年	1973	・用途地域の変更～全面変更(4用途地域→8用途地域) ・準防火地域の決定(74.3ha) ・道路の変更～全面変更(新)角山通、対雁中通、4番通、文教通、1号線、対雁通、鉄東線、大麻13丁目通、中原通、早苗別通、あけぼの通、鉄西線、市街地東光通、(変)札幌・江別通、4丁目通、3番通、南大通、白樺通、5丁目通、江別恵庭線、公園通、2番通、大麻14丁目通、大麻駅前通、新栄通、3丁目通、江別長沼線、11丁目通、5条1丁目通、8丁目通、(廃)中央通、会社通 ・公園の変更～全面変更：(新)わらべ公園、(変)白樺公園、旭公園、双葉公園、若草公園、かわなか公園、弥生公園、みずほ公園、つばめ公園、ひばり公園、こまどり公園、ほほじろ公園、すみれ公園、あじさい公園、らいらつく公園、錦町公園、大麻東公園、大麻西公園、泉の沼公園、大麻中央公園、飛鳥山公園	・土地開発公社設立 ・町名変更(西野幌の一部→文京台)
49年	1974		・町名変更(元野幌の一部→大麻栄町、大麻新町、大麻泉町／晴美町→大麻晴美町／南樹町→大麻南樹町)
50年	1975	・公園の変更～(新)くるみ公園、しゃくなげ公園、かしわ公園、すずかけ公園、どんぐり公園 ・下水道の変更 ・と畜場の決定～札幌総合食肉処理施設(11.3ha)	・第12回国勢調査(77,624人、22,971世帯) ・新野幌第二土地区画整理組合設立認可 ・夕張鉄道全線廃止 ・町名変更(東野幌の一部→東野幌本町／西野幌の一部→野幌若葉町／緑町の一部→王子)
51年	1976	・公園の変更～(新)元江別公園、うつぎ公園、こりんご公園 ・緑地の決定～(新)石狩川河川敷緑地、湯川緑地	・国道12号江別バイパス完成 ・町名変更(江別太の一部→東光町、朝日町、あけぼの町)
52年	1977	・公園の変更～(新)かつら公園、さつき公園、ぽぶら公園、みずき公園、まゆみ公園、かえで公園、からまつ公園、つばき公園 ・下水道の変更	

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
昭和53年	1978	- 市街化区域及び市街化調整区域の変更～第1回全面見直し：江別太、あけぼの町、上江別、東野幌、西野幌、大麻、元野幌、豊幌、角山の各一部 - 用途地域の変更～市街化区域編入地区 - 準防火地域の変更(73.9ha) - 道路の変更～(新)豊幌大通、豊幌4号通、(変)角山通、白樺通、対雁中通、4番通、1号線、新栄通、対雁通、早苗別通、8丁目通	- 江別市総合計画決定 - 町名変更(対雁、角山、元江別の一部→工栄町)
54年	1979	- 用途地域の変更～全面見直し - 文教地区の変更(330ha) - 高度地区の廃止 - 準防火地域の変更(87.0ha) - 下水道の変更 - ごみ焼却場の決定～江別市清掃センター(5.1ha) - ごみ処理場の廃止～江別市清掃センター	- 石狩大橋(新)完成 - 東光橋完成 - 町名変更(上江別の一部→上江別東町、上江別西町、上江別南町)
55年	1980	◇都市計画法一部改正(地区計画制度の導入) - 道路の変更～(変)市街地東光通 - 公園の変更～(新)くりのき公園、はるにれ公園、のぼら公園 - 下水道の変更	- 第13回国勢調査(86,349人、28,513世帯) - 元江別土地区画整理組合設立認可 - 江別橋解体撤去 - 町名変更(元野幌と野幌町の一部→野幌松並町、野幌末広町／元野幌の一部→野幌住吉町、野幌代々木町)
56年	1981	公園の変更～(新)野幌総合運動公園	町名変更(西野幌の一部→文京台東町／西野幌と文京台の一部→文京台南町／東野幌の一部→野幌東町／元江別の一部→牧場町、元町／元江別と一番町の一部→若草町／対雁の一部→緑町)
57年	1982	- 公園の変更～(新)上江別南町公園、野幌末広町公園、文京台南町公園、はなのき公園、ふじのき公園、ならのき公園、ゆりのき公園、(変)すみれ公園 - 緑地の変更～(変)石狩川河川緑地 - 下水道の変更	- 東西野幌土地区画整理組合設立認可 - 元野幌土地区画整理組合設立認可 - 町名変更(元江別の一部→元江別本町、向ヶ丘／元野幌の一部→中央町、錦町／江別太の一部→豊幌)
58年	1983	- 都市計画道路の変更～(新)野幌総合運動公園通、(変)白樺通、江別恵庭線 - 下水道の変更	- 豊幌土地区画整理事業(59年に個人施行から組合施行に移行)認可 - 北海道縦貫自動車道開通
59年	1984		町名変更(元野幌の一部→大麻、大麻北町)
60年	1985	- 市街化区域及び市街化調整区域の変更～第2回全面見直し：元江別地区、野幌南地区、上江別西町地区 - 用途地域の変更～市街化区域編入地区 - 公園の変更～(新)湯川公園、大麻新町公園、元江別第二公園 - 緑地の変更～(新)大麻第一緑地、(廃)湯川緑地	- 第14回国勢調査(90,328人、30,431世帯) - 江別市新総合計画スタート - RTN構想スタート - 町名変更(大麻の一部→大麻元町／西野幌の一部→文京台緑町・野幌若葉町、文京台)

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
昭和61年	1986	・用途地域の変更～全面見直し ・準防火地域の変更(129ha) ・道路の変更～(新)野幌グリーンモール ・公園の変更～(新)さくら公園、(変)野幌総合運動公園	・国鉄高砂駅、野幌駅南口開業 ・王子製紙専用鉄道廃止 ・町名変更(元江別の一部→見晴台／東野幌の一部→東野幌町／西野幌の一部→文京台)
62年	1987	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～保留解除：西野幌地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区 ・下水道の変更	・国鉄大麻駅南口開業 ・町名変更(元野幌の一部→野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町)
63年	1988	・緑地の変更～1緑地新設 ・下水道の認可区域の変更(1,973.2ha) ・火葬場の決定～対雁火葬場(0.78ha)	・見晴台土地区画整理組合設立認可 ・町名変更(東野幌と西野幌の一部→緑ヶ丘／東野幌の一部→東野幌本町／西野幌の一部→野幌若葉町)
平成元年	1989	・道路の変更～(新)江別インター線、(変)8丁目通 ・公園の変更～(変)見晴台公園(大麻第二公園から改称) ・下水道の変更 ・火葬場の変更～江別市葬祭場に名称変更	・北電専用鉄道廃止
2年	1990	・緑地の変更～(新)こりんご緑地、野幌開村緑地、錦山緑地 ・下水道の変更	・第15回国勢調査(97,201人、34,421世帯) ・野幌南土地区画整理組合設立認可 ・町名変更(元野幌の一部→中央町、野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町)
3年	1991	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～第3回全面見直し：RTN地区、東野幌1号線東地区、豊幌中央地区、江別東IC周辺地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区 ・道路の変更～(新)リサーチパーク通、東野幌通、豊幌3号通、豊幌5号通、(変)南大通、江別恵庭線、1号線、江別長沼線、中原通、豊幌大通 ・公園の変更～(新)豊幌公園、江別太公園 ・下水道の変更	・人口10万人達成 ・北電江別発電所閉所 ・町名変更(元江別の一部→見晴台)
4年	1992	◇都市計画法一部改正(8用途地域→12用途地域) ・市街化区域及び市街化調整区域の変更～保留解除：対雁地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区、全面見直し ・特別工業地区の決定(28ha) ・道路の変更～(変)江別恵庭線 ・公園の変更～(新)野幌屯田町公園、まきば公園 ・緑地の変更～(新)緑ヶ丘緑地 ・下水道の変更 ・地区計画の決定～対雁地区(22.4ha)	・東江別土地区画整理組合設立認可 ・野幌東土地区画整理組合設立認可 ・町名変更(東野幌、西野幌の一部→緑ヶ丘)

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
平成 5年	1993	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～保留解除：上江別南地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区 ・道路の変更～(新)上江別1号通、(変)早苗別通 ・公園の変更～(新)上江別公園 ・下水道の変更 ・地区計画の変更～対雁地区	・豊幌中央土地区画整理組合設立認可 ・上江別南土地区画整理組合設立認可
6年	1994	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～保留解除：元野幌地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区、地区計画決定地区 ・道路の変更～(新)元江別中央通、見晴台1号通、(変)新栄通 ・下水道の変更 ・地区計画の決定～野幌東地区(23.5ha)、上江別南地区(79.1ha)、東江別地区(38.4ha)	・新総合計画後期基本計画「えべつ21 15万人都市プラン」策定 ・中央土地区画整理組合設立認可
7年	1995		・第16回国勢調査(115,495人、42,856世帯) ・若葉土地区画整理事業認可(個人施行) ・町名変更(対雁の一部→いずみ野)
8年	1996	・用途地域の変更～全面変更(8用途地域→12用途地域) ・準防火地域の変更(168ha) ・下水道の変更 ・地区計画の決定～中央地区(69.1ha)、豊幌中央西地区(16.1ha)、豊幌中央東地区(13.6ha) ・地区計画の変更～対雁地区、野幌東地区、上江別南地区、東江別地区	・町名変更(対雁の一部→いずみ野)
9年	1997	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～保留解除：大麻地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区 ・道路の変更～(新)10丁目通、16丁目通 ・下水道の変更 ・汚物処理場の廃止～江別市清掃センター ・ごみ焼却場の変更～江別市清掃センター(6.8ha)	・大麻新町土地区画整理事業認可(個人施行) ・大麻土地区画整理組合設立認可
10年	1998	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～第4回全面見直し：保留地区のみ ・道路の変更～(変)鉄東線 ・緑地の変更～(新)野幌南緑地、野幌台地斜面緑地、中央緑地	・町名変更(東野幌の一部→あさひが丘)
11年	1999	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～保留解除：江別太地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区 ・下水道の変更 ・地区計画の決定～江別太地区(4.5ha)	

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
平成12年	2000	・市街化区域及び市街化調整区域の変更～保留解除：元江別地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区、地区計画決定地区 ・道路の変更～(新)兵村4丁目通、(変)元江別中央通 ・下水道の変更 ・ごみ焼却場の変更～江別市新清掃センター(7.4ha) ・地区計画の決定～大麻16丁目地区(18.1ha)、元江別中央地区(4.9ha) ・地区計画の変更～いずみ野・元江別地区(44.0ha)	・第17回国勢調査(123,877人、47,658世帯) ・町名変更(豊幌の一部→豊幌花園町・豊幌美咲町・豊幌はみんぐ町)
13年	2001	・道路の変更～(変)元江別中央通、兵村4丁目通を除く全路線(車線数の決定) ・公園の変更～(新)はすかつぶ公園	・JR高砂駅新駅舎完成 ・町名変更(江別太の一部→あけぼの町)
14年	2002	・用途地域の変更～法改正に伴う建蔽率の指定 ・公園の変更～(新)東野幌総合公園、(変)大麻中央公園、泉の沼公園	・町名変更(上江別の一部→上江別東町、上江別南町、朝日町、ゆめみ野東町、ゆめみ野南町)
15年	2003	・ごみ焼却場の変更～江別市環境クリーンセンターに名称変更 ・ごみ焼却場の廃止～江別市清掃センター ・その他の処理施設の決定～江別市リサイクルセンター(6.8ha) ・と畜場の廃止～札幌総合食肉処理施設	・町名変更(江別太の一部→萌えぎ野西、萌えぎ野中央、萌えぎ野東)
16年	2004	・江別市都市計画マスタープラン策定 ・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の決定～当初決定 ・区域区分の変更～第5回全面見直し：変更地区なし	・第5次江別市総合計画策定
17年	2005	・卸売市場の廃止～江別卸売市場	・第18回国勢調査(125,601人、50,425世帯) ・美原大橋完成 ・道央圏連絡道路(国道337号)美原バイパス開通
18年	2006	・用途地域の変更～江別駅前地区、上江別東町地区、大麻中町地区、野幌美幸町地区 ・準防火地域の変更(171ha) ・道路の変更～(新)野幌駅南通、旭通、若葉通、高砂地下歩道、(変)札幌・江別通、南大通、白樺通、1号線(駅前広場を決定)、鉄東線、中原通、鉄西線(駅前広場を決定)、8丁目通 ・都市高速鉄道の変更～(新)北海道旅客鉄道株式会社函館本線(4,490m) ・公園の変更～(変)東野幌総合公園 ・野幌駅周辺土地区画整理事業の決定(10.6ha)	・「江別の顔づくり事業」都市計画決定 ・町名変更(大麻の一部→大麻ひかり町、大麻桜木町)

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
平成19年	2007	・江別市都市計画マスタープラン変更 ・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更 ・区域区分の変更～随時変更：上江別高台地区 ・用途地域の変更～市街化区域編入地区 ・道路の変更～(新)江南通、大麻インター線、(変)江別インター線 ・下水道の変更 ・地区計画の決定～上江別高台地区(11.5ha)	・江別市、新篠津村合併協議会設置 ・江別駅前民間再開発事業、商業業務棟及び福祉棟完成
20年	2008	・用途地域の変更～中原通沿道地区 ・道路の変更～(変)南大通 ・公園の変更～(変)さくら公園 ・地区計画の変更～上江別南地区、上江別高台地区	・JR野幌駅周辺鉄道高架橋工事本格着工 ・江別市、新篠津村合併協議会解散 ・町名変更(元野幌の一部→新栄台)
21年	2009		・第5次江別市総合計画後期基本計画策定
22年	2010	・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更～第1回定時見直し ・区域区分の変更～第6回全面見直し：地形地物による変更 ・用途地域の変更～区域区分による変更 ・下水道の変更～対雁雨水調整池の変更 ・地区計画の変更～いずみ野・元江別地区	・第19回国勢調査(123,722人、51,170世帯)(戦後初めて江別市の人口が減少) ・土地開発公社解散
23年	2011	・道路の変更～(変)南大通 ・公園の変更～(変)東野幌総合公園 ・地区計画の変更～野幌東地区	・JR野幌駅周辺鉄道高架開業 ・道央圏連絡道路(国道337号)美原道路区間開通
24年	2012	◇都市計画法一部改正(都市計画の決定権者の変更)	
25年	2013	・用途地域の変更～JR函館本線沿線地区、野幌町地区 ・準防火地域の変更(171ha)	・JR野幌駅新駅舎完成 ・町名変更(元野幌の一部→大麻泉町)
26年	2014	・江別市都市計画マスタープラン見直し～江別市都市計画マスタープラン2014【改訂版】	・えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>策定 ・野幌駅北口駅前広場完成
27年	2015		・第20回国勢調査(120,636人、51,983世帯)
28年	2016	・用途地域の変更～野幌駅南通沿道地区 ・地区計画の決定～大麻地区(8.2ha)	
29年	2017	◇都市計画法一部改正(12用途地域→13用途地域)	
30年	2018		・町名変更(西野幌の一部→野幌若葉町)
31年 令和元年	2019	・用途地域の変更～野幌駅南口地区 ・準防火地域の変更(172ha) ・地区計画の決定～大麻元町地区(3.5ha) ・地区計画の変更～いずみ野・元江別地区、江別太地区、上江別高台地区	・えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>改訂版策定 ・野幌駅南口駅前広場完成

年次	西暦	都市計画の経過	主な出来事
令和 2年	2020	・用途地域の変更～大麻南樹町地区	・南大通大橋完成 ・第21回国勢調査(121,056人、53,977世帯)
3年	2021	・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更～第2回定時見直し ・区域区分の変更～第7回全面見直し：地形地物による変更 ・用途地域の変更～区域区分による変更 ・下水道の変更～区域区分による変更 ・道路の変更～(変)角山通、対雁中通、対雁通	
4年	2022	・道路の変更～(変)対雁通、豊幌大通、3丁目通、元江別中央通、(廃)豊幌4号通 ・公園の変更～(変)東野幌総合公園	・「江別の顔づくり事業」整備完了 ・国道275号 新石狩大橋（新橋）の供用開始
6年	2024	・江別市都市計画マスタープラン見直し～江別市都市計画マスタープラン2024 ・江別市立地適正化計画策定 ・道路の変更～(変)角山通、5丁目通、対雁中通、対雁通 ・その他の処理施設の変更～江別市リサイクルセンター(6.6ha)	・えべつ未来づくりビジョン＜第7次江別市総合計画＞策定 ・江別市、北海道旅客鉄道株式会社、生活協同組合コープさっぽろの3者により、魅力あるまちづくりに関する連携協定締結